



# CS通信

北海道余市養護学校  
学校運営協議会  
第3号 (通巻6号)

発行：令和6年2月26日

## 第3回学校運営協議会を分校単独にて開催しました。

令和6年2月16日(金)14時30分から、令和5年度余市養護学校しりべし学園分校の単独による、第3回学校運営協議会(以下CS)を開催しました。当日は、3名の委員の皆様の出席を賜り、①令和5年度の学校評価の説明、②次年度の教育活動の充実に向けた取組、③令和6年度学校経営方針についてお伝えしました。委員の皆様から、本校の今年度の学校経営や教育活動について御指摘や御助言をいただくとともに、さらなる期待が込められた次年度への貴重な御意見を伺うことができました。



【当日出席いただきました、委員の皆様】

## 【説明①】 令和5年度学校評価について

今年度、教職員並びに保護者、関係者等に御協力をお願いし実施しました、学校評価の結果及び考察についてお伝えしました。なお、すべての学校評価及び考察については、学校のホームページに掲載しております。

### □□ 教職員の学校評価から(一部を抜粋) □□

#### 教職員学校評価の分析と考察

【分析2】今年度の平均評価点のうち、昨年度の評価点と比較すると、0.25ポイント以上下がった評価項目は、5項目であった。

現状

- 【項目9】課題に即した個別の指導計画による指導ができていない。  
(令和4年度 3.26→令和5年度 2.92:-0.34)
- 【項目12】児童生徒の健康や安全に配慮した教育活動を行っている。  
(令和4年度 3.61→令和5年度 3.29:-0.32)
- 【項目10】適切な学習集団を編成した学習活動を行っている。  
(令和4年度 3.35→令和5年度 3.04:-0.31)
- 【項目13】家庭や地域、学園などと連携した生徒指導を行っている。  
(令和4年度 3.35→令和5年度 3.08:-0.26)
- 【項目26】防災、防犯にかかわる危機管理について理解ができていない。  
(令和4年度 3.17→令和5年度 2.92:-0.25)

### ◇◇◇ 考察 ◇◇◇

- ・評価点が大きく下回った内容については、その要因や背景などについて検証する必要がある。特に教育課程・家庭や地域との連携・危機管理への理解と対応について課題であると考えます。
- ・これらの項目については、次年度の教育方針や経営方針と関連させながら、課題解決に向けた具体的な取組を推進する必要がある。

### ◇◇御意見・御指摘◇◇

- ・学校評価の説明を伺って思ったことは、「先生方はもっと自信を持ってよい」と思う。また、教育活動の取組を見える化したり、情報発信を行ったりすることが重要であると考えます。

【藤田委員から】

### □□ 保護者・関係者等の学校評価から(一部を抜粋) □□

#### 関係者・保護者アンケートの分析と考察

【分析1】昨年度の平均評価点と比較し、ポイントが下がった評価項目は、全部で2項目であった。

現状

- 【項目4】学校は、保護者や関係機関との情報交換や連携を密に行いながら指導・支援に努めている。  
(令和4年度 3.48→令和5年度 3.33:-0.14)
- 【項目10】学校は、職員の高い専門性に基いた教育活動に積極的に取り組んでいる。  
(令和4年度 3.45→令和5年度 3.36:-0.09)

### ◇◇◇ 考察 ◇◇◇

- ・学校からの日常的な情報共有や発信方法について工夫するとともに、個々個別の事案によっては、支援会議等を実施するなど、具体的な取組を推進する。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを踏まえ、職員が関係施設等との連携を図るきっかけづくりとなるような取組も検討したい。

### ◇◇御意見・御指摘◇◇

- ・学校評価の課題は、関係施設としても受け止めて、整理・共有したいと考えている。また、学校と施設との連携については、学級担任と室担当とのがコンタクトできるような工夫したい。【富樫委員から】

### □□ 保護者・関係者等の学校評価から(一部を抜粋) □□

#### 関係者・保護者アンケートの分析と考察

【分析4】自由記述で学級だよりについて、「週1もしくは月1くらいのペースで郵送してくれたら、子どもの様子が分かり助かる」という記述があった。

現状

- 小学部の学級だより発行回数 (令和5年12月現在)
  - ・1組 15号
  - ・2組 10号
- 中学部の学級だより発行回数 (令和5年12月現在)
  - ・1組 1号 ※生徒の転校に伴い、令和5年9月20日から新たに学級数
  - ・2組 3号
- 高等部の学級だより発行回数 (令和5年12月現在)
  - ・1組 4号
  - ・2組 5号
  - ・3組 4号

### ◇◇◇ 考察 ◇◇◇

- ・学級によって発行数に違いがあることが分かった。児童生徒の家庭状況が多岐にわたることから、どのように発行することがよいか、年度当初に把握する必要がある。
- ・学校での様子については、日常にお伝えする機会が少なくなってしまう場合もあることから、各学部内で発行計画を事前に決める。

### ◇◇御意見・御指摘◇◇

- ・情報発信については、効率的・効果的な方法を用いることが大切である。職員の働き方に関わる評価点が低いことから、先生方が働きやすい環境を整え、自己評価が上がりやすいと考える。【金石委員から】

## 【熟議】「教育活動の充実に向けた次年度の取組」

熟議では、前回の学校運営協議会で委員の皆様からいただきました御意見や、今年度の年度末反省などを踏まえ、各学部から次年度に向け検討している教育活動や取組についてお伝えしました。また、その内容に対して、委員の皆様から御意見を伺いました。



【説明する小学部教務主任】

### 各学部から令和6年度に向けた教育活動(案)について

	小学部	中学部	高等部
各学部からの説明内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同年代の児童生徒との関わりの充実</li> <li>○ 地域資源の活用</li> <li>○ 町内での活動の充実</li> <li>○ 学部生単のブラッシュアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が落ち着いて学習に向かえるスタイルを重視した授業づくり</li> <li>○ 社会的自立に向け、生徒個々に必要な力を身につけ伸ばすこと、協力・協働する力を身に付ける学習の推進</li> <li>○ 保護者、関係機関等と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 製品作りやリサイクル作業の内容をシステム化</li> <li>○ 総合的な探究の時間の充実</li> <li>○ ICT(タブレット端末)の有効活用</li> <li>○ 清掃活動を学部間で、連携した取組(プール清掃・除雪等)</li> </ul>

委員の皆様からの御意見

- ・ 特色ある教育活動や教育課程の充実に向け、児童生徒が実際に体験したり、経験したりすることは、とても大切である。そのためには、教育資源等を活用するための方法の1つとして、移動手段はとても重要な要素であることから、移動手段として黒松内町のバスの利用について、打診してはどうかと考える。
- ・ 学校と施設との連携について、児童生徒の状況を、毎朝の引継ぎ時で伝えるのではなく、事前に学校へ伝えられるようにするなど、より連携が図られるように検討してはどうかと考える。
- ・ 前回の学校運営協議会の熟議でも話題にしたが、しりべし学園分校の教育活動をもっとPRすることが必要である。黒松内町の道の駅は、多くの人が訪れ、展示等を行うことで、教育活動の啓発につながるから、ぜひ取り組んでほしいと考える。

## 【説明②】「令和6年度学校経営方針(案)について

学校長から、次年度の学校経営方針(案)について、説明を行いました。

### 1 次年度の重点教育目標は・・・

『児童生徒の心情に寄り添い、子どもが実感するキャリア発達を促す教育を推進する』としました。「児童生徒の心情に寄り添い」の部分は、令和5年度と同じにしました。理由は、今年度、分校が行ってきた研究により、「心情に寄り添う=おもんばかる」というキーワードを導き出すとともに、教職員に実施したアンケート等の意見を踏まえた上で、継続することとしました。

### 2 学校経営方針の柱は・・・

主なものは、次の3点です。

- ① 特色ある教育課程(地域と協働した教育)
- ② ICTの利活用(授業づくりと業務の効率化)
- ③ 働き方改革の推進(実感する授業改善)

しりべし学園分校の児童生徒は、学校や関係施設から、社会へ巣立つとき、社会でたくましく生きていくために必要な力を身に付けているかが大切です。そのため、将来に役に立つ知識や技能を学び、生き方について考えたり、様々な学びとの結び付きを理解したり、柔軟でたくましく、自らの人生を創っていくようになってほしいとの願いから、重点教育目標の後段にあるように、「子どもが実感する、キャリア発達を促す教育を推進する」としました。



【説明する柏木校長】

### 3 次年度に向けて・・・

これからも地域との結び付きを大切にしながら、児童生徒が学びを実感できる教育活動を推進していきます。また、教師一人一人のキャリアアップも含め、学校づくりを担う一員として、すべての教師が参画する学校経営を目指します。引き続き、皆様からの御支援と御協力をお願いいたします。

令和6年度 北海道余市養護学校しりべし学園分校 グランドデザイン(案)

**重点教育目標：児童生徒の心情に寄り添い、子どもが実感するキャリア発達を促す教育を推進する**

教育方針	経営方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>① ICTを効果的に利活用した、主体的・対話的で深い学びと個別最適化した授業づくり</li> <li>② 知的障がい教育の専門性の発揮とアセスメントに基づいた自立活動の指導の充実</li> <li>③ 学習指導要領に基づく根拠ある指導の確立</li> <li>④ 卒業後の生活を見据えたキャリア形成を育む教育活動の充実</li> <li>⑤ 地域と連携した体験的・実践的な学びを充実させ、学部間の連携性と独自性を確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育活動の質の向上に向けたカリキュラムマネジメントの一層の推進</li> <li>② 感染症対策を含めた安全・安心な教育環境の整備と全ての方の人権を尊重した信頼される学校づくり</li> <li>③ 実感する授業改善及び教育の質の向上に向けて、教務・事務が一体化した働き方改革の推進</li> <li>④ 教育公務員としての自覚をもった服務規律の厳正な保持</li> <li>⑤ 保護者、しりべし学園、黒松内つくし園、地域及び学校運営協議会との連携と学校評価を活かした指導・経営の改善・充実</li> </ul>

① **特色ある教育課程(地域と協働した教育)**：「ねらいを明確にした授業づくりと評価の充実」「一人一人のアセスメントに基づく自立活動の指導の充実」「学校運営協議会と連携した地域協働学習の充実」「コロナ禍前に戻らない教育の創造」

② **働き方改革の推進(実感する授業改善)**：「子どもと授業のために時間づくり」「効率的な会議の推進」「組織的に効果的な業務の推進」「出席知や校内ルールの見える化」「業務見直しの評価」

③ **ICTの利活用(授業づくりと業務効率化)**：「日常的・効果的にICTを活用した授業づくり」「教務・事務が協働する全校的な業務効率化」「オンライン授業の実践の共有」「校内研究の推進と専門性向上の取組」

### 【委員の皆様から、学校経営方針に関する御意見】

しりべし学園分校の教育活動は、いつも工夫されており、特色ある取組がなされていると思っている。今後は、さらなる充実に向けて、黒松内町にある小・中学校とも連携を深め、チーム黒松内として一体となった取組や、黒松内町としりべし学園分校が互いにWin-Winとなれるよう一緒に歩んでほしい。学校運営協議会委員としても、教育委員会や黒松内町に働きかけていきたいと考えている。

### 【編集後記】

・御意見や御感想等がありましたら、下記にアクセスするか、右の二次元バーコードからフォームを読み込み、お知らせください。

【 <https://forms.gle/cKakpM2boccd58t6> 】

